

審議会会議録

会議名称	平成30年度 第2回伊達市市民参加推進会議		
議 題	議事 ① 第6期中間報告書（案）について		
開催日時	平成30年6月15日（金）13:30～14:00		
場 所	伊達市役所 2階会議室A		
出席委員	永井真也 会長、掃部 一夫 副会長、佐藤勤 委員、片川 善明 委員、 荒井秀樹 委員、今村勝一 委員、原義衛 委員、小滝弘子 委員、 斉藤嘉朗 委員（計9名）		
	所管部課名	企画財政部企画課	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【審議会の概要】</p> <p>1. 開 会（事務局：企画課企画調整係長）</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>【以降、会長による議事進行】</p> <p>3. 議 事</p> <p>①第6期中間報告書（案）について 資料に基づき会長及び事務局から説明 【質疑・意見交換】</p> <p><input type="checkbox"/> 委員 第5期の報告でも市民参加制度の浸透とあったが、今回運用と浸透を分けた意図を教えてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 会長 市民への浸透と、職員への浸透が混在していた。職員への研修は、制度の運用のために行っているの、市民への浸透とは意味合いが違い、分けたほうがよいという考えからである。</p> <p><input type="checkbox"/> 委員 これまでの会議の経過から言えば、この内容で良いと思う。今回の中間報告の柱は、市民参加の浸透と若者の市民参加をターゲットにするのかと感じている。次回以降で、若者以外の市民参加も考えていくような内容にするべきかと考えている。</p>			

委員

改善により市民の満足もあり、パブコメが0ということも悪いことではない。どこの組織も若者がいない状況だが、中間層は働かなければ生活ができないので、時間帯の問題もあるのか、感心が薄れている気もする。

委員

(3)の若者の参加の前段に「特に」と付けると良いかと思う。

委員

若い人が集まるような場所がない。若い人を対象のイベント等あれば集まるのではないか。

委員

伊達高校と緑丘高校の交流等が昨年はあり、以前からみれば増えているように感じる。

■ 会長

若者の集まる機会を作ることは市民参加に繋がっていくので、追記するのはよい。

委員

人材バンクから、この会議に3名程度参加してもらうような、高校生枠みたいのがあると若人の意見も拾えるのではないか。

● 事務局

今の制度では18歳から登録できるという現状にある。

■ 会長

それでは、若者の集まる機会を増やしていくような内容を盛り込むようにする。

委員

興味があるけど参加機会がない市民のための工夫を考えていけば参加する人が増えると思うので、これから考えるべきところかと思う。

委員

時間帯の問題や、興味のある内容もそれぞれであり、その辺の整合性がとればよいと思う。

委員

参加の方法は色々あると思う。若者をターゲットにする場合はSNS等を使うべきか。先進事例でいくと、ネットモニターというものがある。スマホで配信をして、返信を基に意見をもらう方法。年配で時間がある人は従来の参加方法でよいが、学生や若者は時間がない場合があるので、その場合はスマホやネットを使っての市民参加というやり方もある。

■ 会長

繋がれない人をどう繋げていくか。誰も知り合いのいないところに繋がるのは、とても勇気がいることだと思う。最初の一步目をどう繋げていくかが大切。簡単に関われるレベルから参加してもらうシステムが必要である。

委員

先ほど話の出た、高校生も社会人も高齢者も全て同じ方法での市民参加ではなくということをしつこく話してはどうかと思う。若い人達が気軽に発信できる機会づくりを進めるということ。

委員

高校生がこの中に入って意見を述べるとなると中々発言することが難しいと思うが、誰かが高校で話を聞くということであれば、意見をもらえるのではないか。

委員

参加しても始めから自分の意見は反映されない、意味がないとか思う人もいると思う。

■会長

今出た意見を反映させ、修正案を提出ということにさせていただく。

4. その他

●事務局

本日も審議いただいた中間報告の内容については、会長と事務局とで最終協議をさせていただく。また、次回会議は11月頃の開催を予定している。

5. 閉 会